

ヤリ才便り

六月号

- 2023 -



前略お元気ですか？六月は菅野(あやの)杜若(かまつばた)鈴蘭(すずらん)初夏の花達の雨によく映えます。六月水無月は水が涸れ尽まで無くなるから。旧暦六月は現在の七月頃で。近頃は夏の早く来て水無月も実感してるところです。さて同一回のNHK生命科学講義、古田保先生(大阪大学教授)今回も丁寧な内容でした。科学の研究は推測小説を書くのと似て、長生マヤギも面白い時代の未来を推測して研究のようです。

生命の誕生は約40億年前で人類の誕生が約700万年「恐竜の繁栄は約一億6000万年。人類の20倍以上の生物種は絶滅と新種の入れ替わりを続け生命はしたたかに続きました。地球の滅んでも生命は宇宙に伝はれていく所の時分が面白い。生物学は多様性こそ生命の存続の鉄則でも種の遺伝子をもつた人のあり程、人類は絶滅せよ人はたどるにすぎだけが生命全体に役に立つ生きるとは他いかに命などありえないのぞいと結論が示されました。知る事は知能の目録のように各自のワクワクが止まりません。

今月の表紙のカードはワクワクついに選んできました。伊藤嘉洋(江戸時代、外史)作品名「鳥獣花本図屏風」エゴ&ジョー・プライスコレクション(米風)戦後大切に収集されました。東日本の震災後を励ましたりと仙台の公開のリースの開始しました。日本人の芸術遺産はその昔：宇宙の事や生命科学も知らなくても生命そのものを感得するに経緯無尽に描き切るとは、その自由さと解やめ、生命の輝きと美しさを表現に目を奪われ、感動とします。

一年の半分の足折り返えりの六月の元気の元気を充てて長生マヤギの人もそれなりの人も生きています。ただ丸もうけして加齢のまわりを各自のそと出たります。雨を染み、味わう六月と結びます。

ご自愛の上お返り下さいます。



令和五年六月吉日

松本 幸子 揮



感謝の心で、敬具。